

2021年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|-------------|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 120121027 | ライフスタイル学演習Ⅲ | 相原・近藤・丹羽 | | 専門 | 2 | 必修 | 2前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| ライフスタイル学科における学びの目標は「新しいライフスタイルの提案」ができるようになることにある。1年前期、後期、2年前期の3セメスターにわたって設定されているこの演習には、自分の生活とつながる様々な事象をテーマとして「生活の豊かさとは何か」を探し、考えて、それを表現する課題が設定されている。これまで何気なく接していたモノ、あたりまえに感じていたコトを新しい視点で見つめ直し、それに言葉を与えていく作業を通して、自分自身の感性や思考を磨いてほしい。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 人が暮らす、生活をつくることについて知る。 ② 「食文化の伝統」が培ってきた暮らしの豊かさを知る。 ③ 「食文化の現在」の課題を知ることを通して暮らしの豊かさを考える。 ④ ライフスタイル学演習Ⅰ～Ⅲで取り組んだ課題で作上げた成果物を総点検する。 | | | | ① 人が暮らす、生活をつくることについて説明できる。 ② 「食文化の伝統」が培ってきた暮らしの豊かさを考え、記事として伝えることができる。 ③ 「食文化の現在」の課題を知ることから暮らしの豊かさを考え、記事として伝えることができる。 ④ 暮らしの豊かさとは何か、自身の考えをまとめることができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | 他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様に、より良いものとなるようにアドバイスする | | | | | |
| | 実行力 | 作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。 | | | | | |
| | 計画力 | 提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を計画的に管理することができる。 | | | | | |
| | 創造力 | 作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチ方法を探ることができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 文章だけでなく、写真、資料なども総合してレイアウトを考え、読み手を意識した記事を作成することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 相互レビューの際に、互いの記事がより良いものとなるように、建設的な意見を活発に交わすことができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | 同級生のレビューや教員からの意見・助言を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。 | | | | | |
| | 状況把握力 | 課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、状況を考えながら活動に取り組むことができる。 | | | | | |
| | 規律性 | 共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | 作成する記事をより良いものとするための努力や苦労を自分自身の成長の機会と捉えることができる。 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 「暮しの手帖」第5世紀11号、暮らしの手帖社、2021。 そのほかの資料はgoogle classroomにて提示する。 参考文献：「生活練習帳2018」「生活練習帳2019」 そのほかの参考文献については授業内で適宜紹介する。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| この科目での学びはライフスタイル学科で開講されるすべての科目と関連する。そして2年次後期以降に開講されるスタジオ関連科目、卒業研究へつながる科目である。 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 暮らしの手帖のバックナンバーは図書館にあるので積極的に手に取ってみてほしい。また、ライフスタイル、生活情報に関する雑誌も数多くの種類が発行されているので、読み比べてみることも薦める。 | | | | 授業の性質上、欠席による補習はかなりの努力が必要なため、原則として1回の欠席も認めない。特別な事情がある場合は事前に連絡をすること。補習を行わせる。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|--------|-----------------------|-------|------|---------------------------------|---|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 0 | ① | | | |
| | | | ② | | | |
| | | | ③ | | | |
| | | | ④ | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | 0 | ① | | |
| | | | | ② | | |
| | | | | ③ | | |
| | | | | ④ | | |
| | | レポート | 0 | ① | | |
| | | | | ② | | |
| | | | | ③ | | |
| | | | | ④ | | |
| | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 90 | ① | ✓ | | 最終的に提出された完成記事に対して評価する。記事の推敲過程の評価は学修態度に反映させる。課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映しているか、読み手を意識して記事が書かれてあるかを評価する。 |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | <p>【主体性】 作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。</p> <p>【働きかけ力】 他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。</p> <p>【実行力】 作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。</p> <p>【課題発見力】 与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。</p> <p>【計画力】 提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。</p> <p>【創造力】 作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。</p> <p>【発信力】 文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。</p> <p>【傾聴力】 相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。</p> <p>【柔軟性】 同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。</p> <p>【状況把握力】 課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。</p> <p>【規律性】 共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。</p> <p>【ストレスコントロール力】 作成する記事をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。</p> | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | ④ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを記事に反映している。</p> <p>※本科目における課題の本質の理解とは、暮らしの豊かさにつながることを作成する記事を通して伝えられることを指す。少しでも含まれればA, 多分に含まれればSとする。</p> | <p>課題の指示に従って、比較・検討できるだけの情報を集め、それを記事にまとめている。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|---|---|--|---|-------|---|
| 1 | 担当：相原 コンテンツ7「日本の伝統的な発酵食品」 発酵食品について学ぶ。 Classroomの活用の仕方を確認する。 | 講義 | 学習内容を理解する。 | (予習) 日本の発酵食品について調べておく。 (復習) 講義でノートしたことをさらに調べて知識として身につける。 | 90 | 主体性 課題発見力 傾聴力 |
| 2 | 担当：相原 興味を持った発酵食品について調べて、人に伝えることができるように理解する。 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 演習 | 学習した内容を人に誤解なく読者に伝えることができる。 | (予習) 興味を持った発酵食品について調べる。 (復習) 授業内容の確認をする。 | 90 | 主体性 発信力 |
| 3 | 担当：相原 興味を持った発酵食品の面白さが分かりやすいように、他の発酵食品についても調べる。 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 演習 | 興味を持った発酵食品の面白さが分かるような他の発酵食品を見つけることができる。 | (予習) さらに広く発酵食品について調べる。 (復習) 資料の整理をする。 | 90 | 主体性 課題発見力 傾聴力 |
| 4 | 担当：相原 興味を持った発酵食品の面白さが分かりやすいように、他の発酵食品についても調べる。 | 実習 | 第3週までの資料を工夫して人に伝えることができる。 | (予習) 人に伝える方法について調べる。 (復習) 記事作成用の資料を作成する。 | 90 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 |
| 5 | 担当：相原 第4週までに集めた資料を用いて、興味を持った発酵食品の面白さについて、人に伝えるため、記事として完成させる。 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 実習 | 学習した内容を理解し、記事として人に分かりやすく伝えることができる。 | (予習) 今まで学んだことを総合的に確認する。 (復習) 記事を完成させる。 | 180 | 発信力 傾聴力 |
| 6 | 担当：近藤 コンテンツ8「現代の食問題」 現代の食に関する問題点をウェブページをもとに拾い出し、個人課題を見つける。 | 講義(ガイダンス) グループ活動 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 食に関する問題に関心を持ち、自分の課題を見つけることができる。(ワークシート・発表より) | (予習) 食に関する問題を調べる。 (復習) 食に関する問題点を整理する。 | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 7 | 担当：近藤 課題を解決する具体的な形として、調べる準備(内容・方法)を確認する。 個人活動を開始する。 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 講義 個人活動 | 課題を探究する具体的な進め方を整理することができる。(ワークシートより) | (予習) 課題に関する情報を収集する。 (復習) 課題に関する基本図書を読む。 | 180 | 主体性 課題発見力 |
| 8 | 担当：近藤 課題を解決するために個人活動を進める。 Classroomを活用して資料・情報の共有を行う。 | 個人活動 | 情報を整理しながら課題を探究することができる。(個人活動の様子より) | (予習) 課題に関する情報を収集する。 (復習) 課題に関する基本図書を読む。 | 180 | 主体性 実行力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|---------------|--|---|-------|---------------------------------------|
| 9 | 担当：近藤 課題を解決するために 行った活動内容を整理 し、記事としてまとめ る。(授業後、記事提 出) Classroomを活用して資 料・情報の共有を行う。 | 個人活動 | 情報を整理しながら記 事として分かりやすく 整理することができる。 (完成した記事よ り) | (予習) 課題に関する 情報を収集する。 (復習) レポート内容 を追加・整理する。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 規律性 |
| 10 | 担当：近藤 作成した記事の相互発 表を行い、学習活動全 体を総括する。(授業 後、総括作文提出) Classroomを活用して 資料・情報の共有を行 う。 | 相互発表 個人総括 | 相互発表を通じて、食 に関する問題を学習開 始時よりも深く考える ことができる。(発 表・総括作文より) | (予習) 各自の作成し た記事を精読する。 (復習) 学習活動全体 を振り返り、食の問題 に対する自らの考えを 整理する。 | 180 | 主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 |
| 11 | 担当：丹羽 ライフスタイル学演習 Iの振り返り1 ライフスタイル学演習 Iで作成した成果物の 相互レビューを行い、 文章の修正を行う。 Classroomを活用して資 料・情報の共有を行う。 | 演習 グループワーク | ライフスタイル学演習 Iで作成した成果物の 問題点を見つけて修正 できる。 | (予習) ライフスタイ ル学演習Iで作成した 成果物をまとめてお く。 (復習) 時間内に完了 しなかった作業を完了 させる。 | 180 | 主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 |
| 12 | 担当：丹羽 ライフスタイル学演習Iの 振り返り2 ライフスタイル学演習Iで 作成した成果物の相互レ ビューを行い、写真、図表 の修正点をまとめる。 Classroomを活用して資料・ 情報の共有を行う。 | 演習 グループワーク | ライフスタイル学演習 Iで作成した成果物の 問題点を見つけて修正 できる。 | (予習) ライフスタイ ル学演習Iで作成した 成果物をまとめてお く。 (復習) 写真の再撮 影、図表の修正を行 う。 | 180 | 主体性 実行力 課題発 見力 傾聴力 |
| 13 | 担当：丹羽 ライフスタイル学演習 IIの振り返り1 ライフスタイル学演習 IIで作成した成果物の 相互レビューを行い、 文章の修正を行う。 Classroomを活用して資 料・情報の共有を行う。 | 演習 グループワーク | ライフスタイル学演習 IIで作成した成果物の 問題点を見つけて修正 できる。 | (予習) ライフスタイ ル学演習IIで作成した 成果物をまとめてお く。 (復習) 時間内に完了 しなかった作業を完了 させる。 | 180 | 主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力 |
| 14 | 担当：丹羽 ライフスタイル学演習IIの 振り返り2 ライフスタイル学演習IIで 作成した成果物の相互レ ビューを行い、写真、図表 の修正点をまとめる。 Classroomを活用して資料・ 情報の共有を行う。 | 演習 グループワーク | ライフスタイル学演習 IIで作成した成果物の 問題点を見つけて修正 できる。 | (予習) ライフスタイ ル学演習IIで作成した 成果物をまとめてお く。 (復習) 写真の再撮 影、図表の修正を行 う。 | 180 | 主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 |
| 15 | 担当：丹羽 ライフスタイル学演習IIIの 振り返り ライフスタイル学演習キャ リア形成IIIで作成した成果 物の相互レビューを行い、 文章や写真、図表の修正点 をまとめる。 Classroomを活用して資料・ 情報の共有を行う。 | 演習 グループワーク | ライフスタイル学演習 IIIで作成した成果物の 問題点を見つけて修正 できる。 | (予習) ライフスタイ ル学演習IIIで作成した 成果物をまとめてお く。 (復習) 時間内に完了 しなかった作業を完了 させる。 | 180 | 主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力